

## ステラおよび R2、R1 のリコールについて

平成20年7月17日

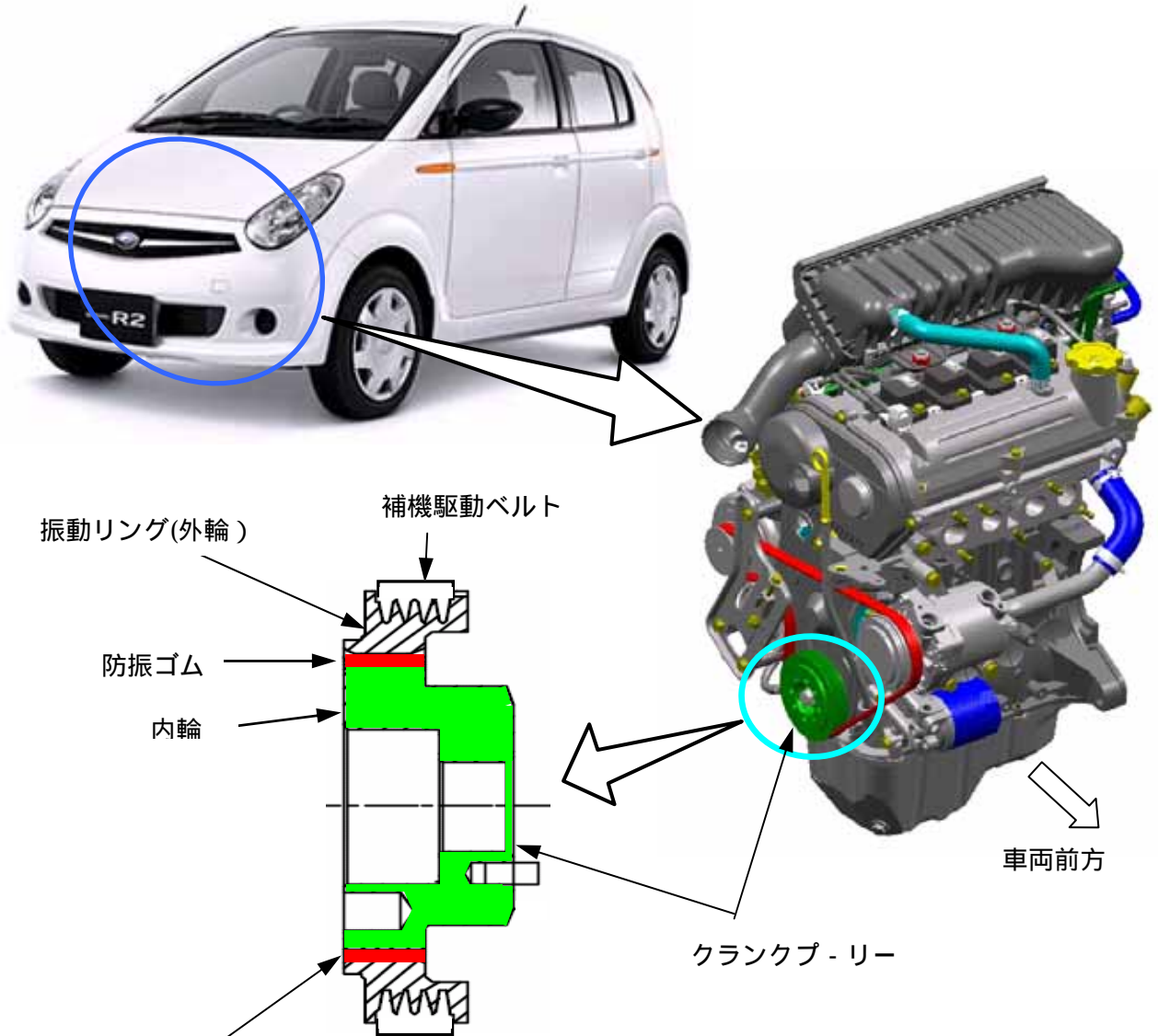
平成20年7月17日、富士重工業株式会社より、国土交通省にステラおよび R2、R1 のリコールを届け出いたしました。

リコール届出番号	2147	リコール開始日	平成20年7月18日
不具合の部位(部品名)	原動機(クランクプーリ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	エンジンの防振ゴム付クランクプーリの防振ゴムの接着面が剥離するものがある。そのため、当該クランクプーリのリング(外輪)が脱落し、発電機が作動しなくなり、エンジンが停止するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該クランクプーリの防振ゴムの接着面を点検し、剥離しているものは対策品のプーリと交換する。剥離していないものはクランクプーリ側面に外輪脱落防止用のプレートを装着する。		
不具合件数	112件		
発見の動機	国土交通省からの指摘および市場からの情報による。	事故の有無	0件
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者:ダイレクトメール、直接訪問又は電話で通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に記載する。</li> <li>・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカー付近にNo.2147のステッカーを貼付する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スバル	UA - RC1 CBA - RC1 DBA - RC1	R2	RC1 - 002003 ~ RC1 - 098019 平成15年11月28日 ~ 平成19年7月9日	31,595	
	UA - RC2 CBA - RC2 DBA - RC2		RC2 - 002001 ~ RC2 - 039001 平成15年11月28日 ~ 平成19年6月5日	11,657	
	CBA - RJ1 DBA - RJ1	R1	RJ1 - 002006 ~ RJ1 - 017007 平成16年12月15日 ~ 平成19年7月3日	6,532	
	CBA - RJ2 DBA - RJ2		RJ2 - 002002 ~ RJ2 - 009263 平成16年12月15日 ~ 平成19年5月28日	1,828	
	DBA - RN1	ステラ	RN1 - 002001 ~ RN1 - 048335 平成18年5月29日 ~ 平成19年6月1日	42,544	
	DBA - RN2		RN2 - 002003 ~ RN2 - 018450 平成18年5月29日 ~ 平成19年6月1日	13,915	
	(計12型式)	(計3車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成15年11月28日 ~ 平成19年7月9日	(計108,071台)	

対象車の車体番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車体も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。

# 改善箇所説明図



## 基準不適合発生箇所

エンジンの防振ゴム付クランクプーリの防振ゴムの接着面が剥離するものがある。そのため、当該クランクプーリのリング(外輪)が脱落し、発電機が作動しなくなり、エンジンが停止するおそれがある。

### 改善内容

全車両、当該クランクプーリの防振ゴムの接着面を点検し、剥離しているものは対策品のプーリと交換する。剥離していないものはクランクプーリ側面に外輪脱落防止用のプレート装着する。

### 識別

タイミングベルトカバー上部に白ペイントを塗布する。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式(総排気量(cc))	備考
スバル	UA - RC1	R2	軽(4輪)・ 乗用	箱型	EN07(658)	
	CBA - RC1					
	DBA - RC1					
	UA - RC2					
	CBA - RC2					
	DBA - RC2					
	CBA - RJ1	R1				
	DBA - RJ1					
	CBA - RJ2					
	DBA - RJ2					
	DBA - RN1	ステラ				
	DBA - RN2					